

《小学生の部》

佳作（警察庁交通局長賞）

香川県観音寺市立観音寺小学校

5年 間瀬 羽海

「ながらスマホ」について

わたしは、車に乗っている時に、スマートフォンをそう作しながら歩いている人を見かけました。家に帰ってから、家族と「ながらスマホ」について話し合いました。わたしは、

「ながらスマホをしていると信号が赤なのか青なのかが分からなくなったり、ふみ切りが鳴っているかが分からなくなったりするので、事故にあうリスクが高くなるよね。」

という話をしました。その後お兄ちゃんが、

「確かに、ながらスマホをしなくなったら、事故も少なくなるね。」

と言ってくれて、家族みんなが共感してくれたので、とてもうれしかったです。その話し合いが終わった時、弟が、

「あっ。」

と言ったので、指をさしている方を見ると、「ながらスマホ」をしている人がいたので、注意をしようかなやんでいると、後ろからお父さんが、

「ながらスマホはだめですよ！」

と大きな声で言ったのでびっくりしました。でも、すぐに注意をしたお父さんを見て、少し誇らしかったです。

次の日、家族でドライブに行っている時、他国の人が、自転車に乗りながらスマートフォンをそう作して、「あぶないなあ…」と思っていたら、その人がふみ切りに直進しようとしていました。すると、近くの人が自転車の人を止めてくれました。事故が起きなくてよかったけれど、すごくひやひやしました。わたしたち家族は、車の中でみんなが、

「あぶない！」

とさげんだ後だったので、ほっとして笑いがおきました。

また次の日に、お母さんが車を運転しながらスマートフォンをそう作していたので、わたしが、

「ながらスマホをしたらいかんよ。」

と言うと、お母さんが

「ああ、ごめん！気をつける。」

と言ったので、「よし分かってくれた。」と思って、うれしかったです。

ちがう日に、お兄ちゃんが自転車に乗りながらスマートフォンをそう作っていたことをわたしの友だちから言われたので、帰ってからお兄ちゃんに、

「何回言ったら分かるんよ？いいかげんにながらスマホ止めて！」

とわたしが言った後から、わたしの家族の「ながらスマホ」がなくなりました。

最近では、お兄ちゃんが

「おれの家族、マジで、事故とかないんで。」

と自まんするようになりました。「それ、わたしのおかげやで。」と思っておもしろかったです。これからも、家族みんなで「ながらスマホ」に気をつけていきます。そして、家族みんなが笑ってすごしていきたいです。